

ロゼ

文化情報誌 ロゼ

Art information of Fuji city Vol.25
AUTUMN
Culture Magazine R O S E 1998

秋号



vol.25



ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 1998年10月発行(第25号)
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416-0931 富士市藤原1307番地の8 TEL.(0545)60-2510(代)
企画・編集・制作 (財)富士市文化振興財団事業課広報係 アドスペース エービック株式会社

富士に生まれた市民ミュージカルは空を翔、海を越える

十一月一日・三日の公演を前に、いよいよ大詰めに入った出演者・スタッフはそれぞれの役づくり、イメージづくりに熱くなっています。昨年のオーディションでは硬かった表情も今は自信に満ちたプロ(?)の顔・さあ間もなく本ベルです。
海組・空組(ダブルキャスト)の出演者に公演前の心境をうかがいました。



MUSICAL NAGORI NO KOSODE

11/1・3 富士に感動が翔る日

ロゼシアター開館5周年を飾る富士市民による市民創作ミュージカル。
笑い、涙し、心を打つ、その時代を生きた人々の愛と友情の人間模様を今、この地に生きる人々が演じ未来へ託す。
感動の二文字では表現できない今世紀最大のビッグイベント

◆海組◆

十郎 杉山直希 すぎやまなおき



イメージしている十郎は、力強く純情で真の強い青年武士ではないかと思う。この十郎をそのまま演じるのではなく自分に秘めている十郎を演じたいですね。社会に出て十年になりますがこれほど夢中に打ち込めるものはありませんでした。これまで経験してきたことを芝居に生かされたいですね。
ミュージカルの十郎は家から外に出たことがない世間知らずのまじめな武士、しかし村人と出会い、友情を知り、そして恋を知る。そんな十郎の心の変化を全幕で表現できればいいですね。

◆五郎◆ 鈴木真治郎 すずきしんじろう



僕の五郎役は野性味があった役作りを

ゆき

深澤理恵 ふかさわりえ



少女から大人の女性に成長していくゆきを演じたいですね。

役のゆきはいつも前向きで純粋で元氣いっぱい娘だと思えます。十郎とのからみでも始めはあどけなさが残る少女らしいしぐさから少しずつ恋に目覚め女らしくなっていくところを見てほしいですね。特に「ときめき」のうたは、心を込めて歌いたいと思います。

でもときどきどうやって芝居をしていいかわからなくなってしまう、本当に好きになったほうがいいのか、なんて考えちゃいます。(笑)舞台の上で恋をする難しさを知りました。

役はダブルキャストですが、常に私らしさを忘れず演技したいと思っています。

◆空組◆

十郎

寺脇史和 てらわきふかず



十郎役は二十二歳、僕にとって少し年齢のギャップがありますが若い時の自分

してみたい。侍にしてみれば道を外したはみ出しものだが、ワルはワルなりに仲間を思いやり、そして仲間から信頼される人一倍思いやりが強い男だと思います。ワルの役は姿形で表現できるがその内に秘めた思いやりの気持ちが出せたらいいですね。

仇討ちで死を覚悟している青年がその時代に精一杯生きた、その若者の心の暖かさや信念など外見では見られない部分を見て下さい。
悪役ではないワルガキの五郎を演じた

満江御前

望月典子 もつぎのりこ



私もひとりの母であり妻です。時代は違っても子を思う母の気持ち、夫を愛する妻の気持ちは同じではないかと思えます。満江御前は戦乱の世を生き抜いた強い女性ですが、私は母親だれもが抱く普通の姿を大切にしたいと思えます。夫と死別し、箱王を稚児に出し、成長した十郎、五郎の別れを予感する時、その時の心境を表現できたらと思います。でも悲

満江御前

小林由紀子 こばゆきこ



私と舞台の出会いが学生時代、単位取得の関係で歌舞伎(猿之助さん一門曾我物)を鑑賞してからです。以来一度でいいから舞台の上から客席を見てみたいと思いい今回チャレンジすることになりました。今は緊張感でいっぱいです。

私は十郎より三歳年上、しかもまだ独身ですから母親・妻役は大変難しいです。ましてや初めての芝居で練習の度に四苦八苦、みなさんにご指導いただきながら私なりのイメージでがんばりたいと思えます。

この舞台は私にとって人生最大の実験となるでしょう。一九九八年の良い思い出にしたいですね。ちなみに来年はコンピューターに挑戦です。

虎御前

望月千江 もつぎちえ



物語のとはは十七歳、いまの二十四・五歳位かな、自分とオーバーラップしています。芝居は高校と大学のサークルでやっていましたが時代劇は初めてです。芝居では人間くさささというか人と人の

しい表情ばかりでなく、その時代に一生懸命生きたひとりの女性になれればいいですね。
私がこうしてミュージカルができるのも家族の思いやりと仲間の支えがあったからこそです。一生の思い出(宝物)になります。

虎御前

井上瑞穂 いのうえみずほ

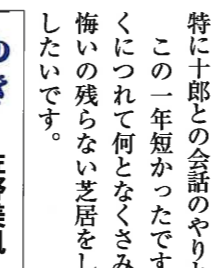


配役が決まってからこれまでに演じられた曾我物語の歌舞伎や映画のビデオを見てとら役のまねをしました。これからはそこに自分のイメージしたとらを重ねていこうと思います。ミュージカルのとらは強い女性で弱いところを見せませんが、本当は繊細な心の持ち主ではないでしょうか、そんな内面をセリフひとつひとつに出せたらいいですね。

舞台では白拍子の舞を見て下さい。このミュージカルは自分らしさを再発見すると共に一番輝ける時だと思えます。仕事について歌を口ずさんでいます。いま頭の中はミュージカルのことではないです。

ゆき

佐野美帆 さのみほ



愛や憎しみ、感情を出したいですね。とら役を私なりに演じてみたいと思います。特に十郎との会話のやりとりを見て下さい。この一年短かったですね、公演が近づくとつれて何となくさみしい気もします。悔いの残らない芝居をして生きた舞台にしたいです。



ゆきという娘は不器用で自分をストリートにしか出せない性格、こんな娘が初めて恋をしたのが武士の十郎、身分の差が厳しい時代にこんな恋愛はあり得ません。ゆきの心の純粋な気持ちになつて「これが人を愛すること」と表現できればいいですね。

第八場の、ゆきが十郎に告白するところを是非見て下さい。それにダンスも一人の村娘が遊び仲間と違う異性と出会う瞬間と違いますが、ゆきは事実上存在しない人物ですが、

ゆきは事実上存在しない人物ですが、仇討ちに生きる十郎・五郎も普通の若者だったということゆきを通して感じてもらえればと思います。

私がミュージカルを見ていつも何かを得るようにこのミュージカルでも皆さんに心に残るなにかを伝えることができれば幸いです。

公演が終了しても佐野美帆の演じたゆきはずっと生きてるように・・・。





11月13日公演 松竹歌舞伎 曾我対面「春調娘七種」

歌舞伎の中の曾我狂言について

Report

KIYOSHI MIZUOCHI

（駒富士市文化振興財団芸術委員）

水落 潔



郎だ」と弁明したとあります。

送される途中首をはねられます。「曾我物語」の原作は非常に長く源氏と平家がどうして始まったということから永遠と物語は続き最後に曾我兄弟が出てきます。

こうした言い伝えが能・浄瑠璃になり「元服曾我」「調伏曾我」「夜討曾我」などの作品となり曾我狂言、歌舞伎に結びつきます。

「曾我物語」曾我兄弟の史実

物語は平安末期、平家全盛の伊豆を舞台に起ります。工藤祐経は従弟である伊東祐親が自分の領地を奪ったことを恨み伊豆奥野で狩りの帰途の祐親を家来の近江小藤太と八幡三郎に狙わせますが祐親の子、祐泰を殺してしまいます。射殺された河津三郎祐泰の妻、満江は子供（一万・箱王）を連れて曾我祐信と再婚、長男は曾我十郎祐成、弟は五郎時致と名乗ります。

父が殺されてから十八年後、鎌倉幕府となった建久四年（一一九三年）五月二十八日夜、兄弟は頼朝が催した富士の裾野の巻狩りで陣屋の工藤祐経を襲い父の敵をはたします。しかし十郎は仁田忠常に討たれ、五郎は捕らえられて鎌倉へ護

「曾我物語」の成立

兄弟に纏わる話は口伝で広まり、いろいろな物語になっています。

曾我兄弟の討ち入りの話、母満江が兄弟に小袖を与える話、十郎五郎を助けた家来の鬼王新左衛門（団三郎）の話、さらには十郎の恋人大磯の遊女虎とのラブロマンス、五郎と恋人の化粧坂の少将の話と言ったように多形ですべて伝説で言い伝えられています。

歌舞伎の誕生

一六〇三年徳川の権力が確立した時代、出雲大社の巫女と称した阿国という女性一座が京都で「かぶき踊り」を演じて評判となったのが始まりとされ、歌舞伎の祖先は出雲の阿国からということになっています。

歌舞伎とは、歌（うた）舞（おどり）伎（わざ）のあて字であり、語源は「傾く（かぶく）」、「前衛的・翔んで」といった意味があります。

かぶき者として異装した暴れ者が世間に見れた時代で、関ヶ原の合戦で徳川が天下をかため、これに敗れた若者が町に出て憂さを晴らすといった、今のパンク

「伎の中の曾我物語」

講師 水落 潔先生



ロック、ビジュアル系ファッションのよなものです。

阿国はその芸能・風俗を取り入れて、男装で踊ったとされています。

室町時代の風流

この時代、戦乱・天災・疫病などで若くして亡くなった人々の魂を鎮めるため御霊会（ごりょうえ）という祭祀を行いました。現在の七夕や祇園祭もその一つですが、その時踊られたものが風流（ふうりゅう）と呼ばれる踊りでこれがやがて念仏踊り、ややこ踊りという芸能になり、そこから「かぶき踊り」が生まれました。

この阿国の人気が高まるにつれて同じような芸能が続々と生まれます。幕府は風俗上の理由で一六二九年、女性の芸能を禁止（明治まで続く）しました。しかし代わって美少年による若衆かぶきが生まれます。今でいうジャニーズみたいなものです。このことでまた同じような現象が起き若者から前髪をおとした野郎歌舞伎という男だけの歌舞伎が生まれました。しかし色気もなくつまらない舞台でしたので、すこしづつ物語を付け、男と女形という役ができ元禄時代（元禄文化のはじまり）一六八八年〜一七〇四年に歌舞伎は演劇として形を整えました。

江戸荒事の誕生

江戸時代に入り、勇ましい男の町、武家の町であった江戸には多くの人間が集

荒事と曾我の結びつき

まっけて来ました。このため多くの食料（米）が必要となり、毎年豊作を願う災難を免れるため舞台に英雄を登場させ悪霊を鎮めるという宗教的な意味を持った荒事が生まれました。

荒事は伝説上の英雄が誇張した化粧と衣装で登場し、その勇猛さで悪人をやっつけるといったもので、一六七四年に初代市川團十郎が「四天王稚立」で坂田公時を演じて大好評となりました。

記録によりますと、延宝三年（一六八〇年）に初代團十郎が「勝鬨曾我」の五郎を演じ、元禄十年（一六九七年）には自作自演した「兵根元曾我」で箱王丸（のちの五郎）を演じました。五郎は親の敵を討った後、二十歳の若さで殺されたことに荒事の主人公にぴったりで江戸の気風にあっていたと言えます。

また「五郎」という名前が「御霊（ごりょう）」と響きが重なり合うことも曾我狂言が流行した理由になります。

曾我狂言の変遷

享保年間（一七一六年）から約百五十年間、江戸三座（中村座・市村座・森田座）では毎年正月に曾我物を上演するのが吉例になり、曾我狂言は祝祭劇の性格を持つようになりました。内容も仇討ちではなく曾我兄弟を巡る話からはじまり敵の工藤と初めて「対面」する場面で終



水落 潔プロフィール
早稲田大学第一文学部演劇科を卒業。
毎日新聞・東京本社に入社。
以降学芸部副部長、特別編集委員を経て現在は客員編集委員で活躍。また日本演劇協会理事、歌舞伎学会運営委員も努める。
著書「上方歌舞伎」は1990年芸術選奨文部大臣新人賞を受賞、ほか「文楽」「平成歌舞伎俳優論」「演劇散歩」「幸四郎の見果てぬ夢」などがある。

この様に曾我狂言は数多く作られ曾我五郎が主人公となる歌舞伎のシヨ一的な「助六」も登場、現在では「寿曾我対面」歌舞伎十八番の「助六」「矢の根」「外郎売」のほか「石段」「草摺引」「夜討曾我」、舞踊では「春駒」「白扇曾我」「娘七種」などがあります。

わって来ました。この結果、工藤は敵役ではなく一座の座頭の役になり、十郎は和事（色男役）大磯の虎は立女形、化粧坂の少将は若女形と言った役柄が固定しました。このようにして幕末まで多くの曾我狂言が生まれ、この「対面」を明治になって河竹黙阿弥が整理して一幕にまとめたものが現在の「寿曾我対面」となります。

あの瞬間の感動をもう一度...

1998・APR. ~1998・SEP.

平成10年度前期自主事業を、それぞれの公演に寄せられたアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。(WAKUWAKU通りや本誌中で扱った公演は割愛してあります。)※サインは出演アーティストからいただいたものです。



戸川純 一人芝居

「マリイヴォロン」9月11日(金)

VOICE ●すごいきれいな絵本を見ているようで、とても気持ちが素直になったような...素敵な一日でした。(富士市30歳代女性)

●戸川純さんのお芝居を観て、私の「芝居やりたい病」がまた発病してしまいました。(富士市20歳代女性)

1998.9.11
21:40
戸川純



須川展也サクソフオーン

「ロゼシアター」9月26日(土)

VOICE ●日本の四季を感じさせる音色。清流に浮かぶわくわく葉の様な心地良い音。本当にありがたう。(富士宮市40歳代男性)

●吸い込まれるようなさわやかなサクソの音色に感動しました。ピアノとよくマッチしていて、とても良かったです。(富士市40歳代女性)

須川展也



サマートワイライトコンサート
ピリィヴォーン楽団

7月19日(日)

VOICE ●毎日の忙しさの中で、夫婦で楽しい一時を過ごすことができ、また新しいエネルギーをもらい頑張りたい。(富士市50歳代女性)

●懐かしいサウンドを聴き、昔のことを思い出した。甘く切ないトロンボーン、サクソフオーンの音でピリィヴォーンの曲が尚一層好きになりました。(富士市50歳代女性)

ピリィヴォーン楽団
Rishi Voorn
7.19
ピリィヴォーン



ダルムシユタット
アンサンブル

7月24日(金)

VOICE ●クラシックの中でも室内楽は音楽をじっくり味わうことができ、好きなジャンルである。それだけに演奏は高度な技量とアンサンブルの良さが要求されるが、今日の演奏はこれに十分答えてくれて楽しく聴くことができた。(三島市60歳代男性)

●艶のある美しいアンサンブル、しかも抑えが効いていて派手でなく、小ホールには最適な公演。(東京都50歳代男性)

Darumshutt
アンサンブル
7.24



渡辺徹の
おしゃべり音楽館

8月22日(土)

VOICE ●徹さんの巧みなおしゃべりで笑いが絶えず、演奏者や楽器に触れ、その後の演奏がより身近なものとして感じられ、和やかな雰囲気の中で楽しく聴くことができました。(富士市30歳代女性)

●徹さんの軽妙な話術と一流の音楽家の皆さんの音に酔いしれました。(富士市60歳代女性)

渡辺徹

FLASH BACK Event Report



ロゼ・イヴニングコンサート
第1夜 神谷郁代

6月12日(金)

VOICE ●美しいピアノの音色に至福の時を過ごすことができました。(富士市40歳代女性)

●スクリャービンの曲をコンサートにて聴いたのは初めてです。神谷さんの曲解説があったので、鑑賞の仕方がよくわかりました。(富士市50歳代女性)

神谷郁代



ウイン少年合唱団

4月14日(火)

VOICE ●少年たちの澄んだ歌声がとてもきれいでした。彼らが歌うことで日本の曲もいんだと感じさせられた。(富士宮市20歳代女性)

●オペレッタは子供たちがのびのびと、とても楽しそうに演じていてかわいらしかった。(富士市40歳代女性)

ウイン少年合唱団



第2夜 堀江真理子

7月3日(金)

VOICE ●歯切れ良いタッチで聴きごたえがありました。(富士市60歳代女性)

●演奏されたピアノとご縁のあった演奏者とのことで、特別な鑑賞をさせていただきました。(富士市50歳代女性)

堀江真理子



ミザリー

4月26日(日) 出演 白石加代子 市村正親

VOICE ●頭のとっぺんから足の先まで目が離せない、すごく集中した時間でした。(富士市30歳代女性)

●二人の表現力、演技力に感心させられました。さすがです。(富士市50歳代女性)

●ハラハラ、ドキドキ、そして笑いあり。話の中にどんどん引き込まれた。怖いけど面白かった。(長泉町30歳代女性)

ミザリー



新日本フィルハーモニー交響楽団

6月22日(月)

VOICE ●整本ヴァイオリニストは最高に素晴らしい!世界の小澤氏の指揮を目の前にし、私は幸せ!(富士市40歳代女性)

●娘時代からのあこがれの小澤征爾氏の生の演奏を聴くことができ、感激しました。チケットは息子からの母の日のプレゼントです。(富士市60歳代女性)

小澤征爾



石井漢記創作舞踊団公演「展覧会の絵」

5月16日(土)

VOICE ●モダンバレエの楽しさを味わわせていただきました。音楽も表現もとても良かったです。(富士市30歳代女性)

●初めて見るものでびっくりしましたが、別の世界にいるような気分になりました。(沼津市60歳代女性)

●フィナーレがとても新鮮で迫力があり、他の舞台にない感動を久しぶりに味わいました。(富士市30歳代女性)

石井漢記



デュークエイセスコンサート

6月28日(日)

VOICE ●馴染み深いグループですので、改めて魅了された感があります。いつまでも私たちを楽しませてほしいと思います。(富士市40歳代女性)

●ハーモニーの良さ、生でなければわからないきさくなグループの良さが伝わってきました。(富士市60歳代女性)

デュークエイセス



'98 MAY コンサート

5月31日(日)

VOICE ●毎年楽しみにしております。今年も学生時代の成果を聴かせていただきありがとうございました。(富士市50歳代女性)

●いよいよ世に出ようとする若い音楽家には、何よりの励みであり市民の皆さんにも知っていただく機会であり、良い企画の公演だと思います。(富士市60歳代男性)

EXHIBITION 展示

市民創作ミュージカル
新・曾我物語〜名残りの小袖〜 特別展示
7月8日(水)〜12日(日)



VOICE ●人形が素晴らしい。思わず見とれてしまいました。ミュージカル出演者の皆さんも頑張っていて公演当日が楽しみです。(富士市30歳代女性)

●スケールが大きく、大変感動しました。あまり歴史は知りませんでしたが、人形から伝わってくる静かな思い、そんな神秘的な世界に引き込まれました。(清水市50歳代女性)

ポスター・写真展
「ロゼシアター5年間の軌跡/未来」
5月28日(木)〜6月7日(日)



VOICE ●今まで自分が足を運んだコンサートの記憶がよみがえってきて面白かったです。10周年でまたやりましょう。(富士市20歳代男性)

●5年間で大変多くのイベントがあったんだと改めて感じました。ロゼシアターがなければなかなか鑑賞できなかったと思う。(富士市60歳代男性)

第35回記念
「朝日陶芸展」
4月29日(水)〜5月10日(日)



VOICE ●ジャンルにとらわれない広い視野に立った多種多様な作品を一度に拝見できて、現在の陶芸を感じる事ができ、有難く思いました。(富士市60歳代女性)

●獨創性、意外性、発想の新鮮さを感じる素晴らしい作品の数々とても心地よい刺激を受けました。(東京都20歳代女性)

世界中、演奏活動はギター一本持つてゆくだけです。どこの国でもギターがあればコミュニケーションが取れますから。

ギタリスト 福田進一

現在世界的なギタリストとして注目されている福田進一さん。内外での演奏活動とレコーディングに追われる多忙の中、束の間の休日、静岡のご自宅におじゃまし、お話を伺いました。ステージでは拝見出来ない和やかな福田さんの一面を見せていただきました。

ピアノは劣等生でもギターは優等生

小学校六年生の時、父がウクレレを買ってきましてすぐに奏けるようになりました。それまでピアノを習っていたのですが、本当に楽しいか疑問をもっていたところでした。ウクレレはおもちゃでした。牧伸二、加山雄三の世界でしたから。そんな時クラスでギターを持っているやつがいて、弦も二本多いしこれはすごいと思いついて、中学一年で教師の斎藤達也先生に本格的な指導を受けるようになり、クラシックというよりフォークからボサノバまでギターで演奏できるものなんでもやりました。



瞬間突然奏けるようになったのです、これがギターを演奏するきっかけでした。

すばらしい仲間と環境

一九七七年にヨーロッパに留学した時は、ギターは革命的な時代だったといえます。世界中からすばらしいギタリストがパリに集まっていたし、今日日本で活躍しているピアニスト、フルーティストなどすばらしい人達に恵まれた環境も最適でした。当時毎年開かれるパリの「ギター国際コンクール」を目指して世界からギタリストが集まってきました。一九八一年に優勝した一位から四位までプロでした。ギターの豊穡時代というか、二十歳〜二十一歳に良い体験をしました。今でも当時の仲間と会っています。



一九七七年にヨーロッパに留学した時は、ギターは革命的な時代だったといえます。世界中からすばらしいギタリストがパリに集まっていたし、今日日本で活躍しているピアニスト、フルーティストなどすばらしい人達に恵まれた環境も最適でした。当時毎年開かれるパリの「ギター国際コンクール」を目指して世界からギタリストが集まってきました。一九八一年に優勝した一位から四位までプロでした。ギターの豊穡時代というか、二十歳〜二十一歳に良い体験をしました。今でも当時の仲間と会っています。

「ギター・マンドリンの祭典」

内藤開喜

連休や学校休暇期間中、フェスティバル、シンポジウム、マイスターコース、ゼミナール、コンクール、ワークショップと称した音楽の催しが欧州各地で開かれる。ギターとマンドリンに関したものはドイツだけで年に百以上と言われる。世界的奏者による個人レッスンの他、講習、合奏指導、コンクール、コンサート、講演等が提供されている。主催地の利点を活かしてバカンスを兼ねた国際文化交流の性格の強い「休暇型」、一日中学ぶ「勤勉型」、生徒獲得を意図した「啓蒙型」等種々ある。企画の成否はアイデア、マネージメント、オーガニゼーション、チームワーク(アンサンブル)の良否に懸かる。オケや合奏団の存立条件とも似ている。マネージメントの貧弱さから財政難を招き消滅してしまつたものも少なくない。

マイナー世界で食べていくのは厳しい。世のニーズと奏者の得て高尚と映る目的との隔たりが大きく、努力に見合った収入が得にくい。政治力を行使する先進の圧力を熾和しなければならぬ。しかしこれらの催しに参加することで世界のトップレベルの奏者と直接交流がもて、日本と世界の音楽的・技術的レベルや価値基準の違いを認識できる。視野が広がり、将来の活動の基盤や方向の確認ができる。どの催しも聴講生、受講生として観光客、部外者、初心者からプロ迄誰でもどんな形でも参加できる。マイナー世界は趣味との境界が不明瞭な場合も多く、この点入門しやすく実際その気になれば自由に活動できる可能性が大きい。偶然出合った五つの「祭典」を覗いてみた。



ギターは触れて音を出す体に一番近い楽器。楽器は奏者と音の出る所に距離がありませんが、ギターは触れるだけで音が鳴ります。ギターの触覚というかさわっている感じが体質的に好きですね。抱えて奏くのが音が体に伝わってきます。楽器自体はエジプト時代から世界中に伝わったジャンルの無い楽器ですから、クラシックを奏いていて突然ジャズやタンゴを演奏してもだれにも怒られない自由な楽器です。どこの国でもギター一本でコミュニケーションがとれます。小さなオーケストラを持つ指揮者のようなものですね。

海外の演奏ツアーは二年に一回程で、周りでは「行け行け」といいいますが、経費は持ち出しです。最近アルゼンチンに行ってきましたが、それまでの打ち合わせはすべてEメールでやりとりしていました。静岡で世界の情報が分かれますし、ここでじっくり音楽のことを考えられます。静岡に住んで七年になります。東京との往復で寝るための場所というか、でも自分の時間を外部からシャットアウトできるのがいいですね。

ロゼのプログラムは世界初演

一九八七年ブルガリアのツアーで僕

の演奏を聴いた少年が今や新進気鋭の作曲家アタナス・ウルクスノフとなり、今年曲を書いてくれ、今回初公演となります。また恩師のナルシス・ボネが二年掛かりで書いてくれた十二のカタロニア民謡集の中からいくつか演奏します。新しい僕の音楽と伝統のスペイン音楽で楽しんでください。

明日からCD録音が始まります

ギターはボーダーラインの無い楽器でいろんなことが出来ますし、世界中の人達が曲を書いてくれます。現在も吉松隆氏が僕に曲を書いてくれていきますし、これからやることもたくさんあります。サウンドもまだまだ開発しなくてはならず、今後の抱負と一言もすごい量です。指導してきた鈴木大介くんも村治佳織さんも活躍していますし、これからは一人でもおもしろいことができます。さっそく明日からレコーディングに入ります。



福田進一 SHIN-ICHI FUKUDA
1978年 カルパントラ国際ギターコンクール優勝
1979年 ガルニャーノ国際ギターコンクール首位
1981年 マリア・カナリス国際ギターコンクール第2位
1981年 パリ国際ギターコンクール優勝
1985年 大阪文化祭本賞
1987年 村松新人賞受賞

Table with 3 columns: Name, Organizer, and Next Event. Lists various festivals like Europäisches Musikfestival 2002 and 22nd International Festival of Classical Guitar.

マンドリン製作・演奏家 内藤開喜 Yasuyoshi Naitoh PROFILE
富士市出身、現在ドイツ・ケルン市在住。海外のさまざまな文化情報を新しい切り口で取材し、レポートを送っていただいています。

ROSE THEATRE・EVENT CHECK LIST

1998年11月・12月・99年1月の催し物のご案内
 劇団自主事業をはじめ、一般貸出事業を含めたスケジュールです。

INFORMATION

EVENT Report



市民創作ミュージカル 新・曾我物語～名残りの小袖～ 直前情報

ロゼシアター オープン五周年を記念してのミュージカル、「新・曾我物語」名残りの小袖のいくつかのシーンが、八月八日(土)に、開催されたフジリスティンによる「びっくり箱コンサート」の中で初めて披露されましたので、その一部を紹介いたします。

ミュージカルは全二幕十場、全三十二曲の歌で構成されています。一年以上を費やして完成された富士市民創作ミュージカルは私達にとって大切な宝物となるでしょう。



祭りだワッショイ

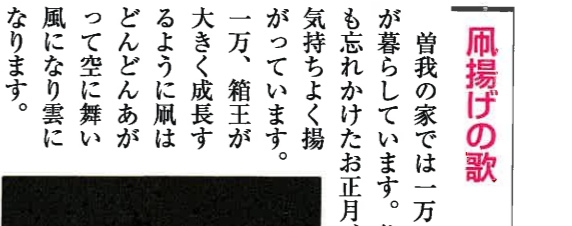
コンサートではオープニングを飾った「祭りだワッショイ」、出演者全員による歌と踊りです。

ミュージカルでは第二幕の幕開けとなります。潮風が香る大磯の宿でのお祭りの場面です。「ワッショイ、ワッショイ、年に一度の大磯祭り、良いこと嫌なこと皆忘れて歌えや踊れや大磯祭り」

活気ある大磯の町に団子売り、おもちや売り、飴売りの屋台が見えるようです。



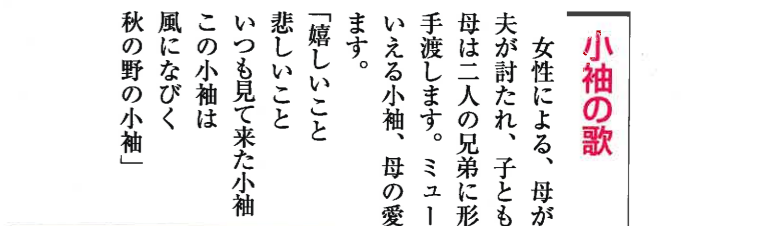
お掃除SONG
 箱根権現の場、境内で稚児達が掃除をしています。箱王(五郎)もいます。「サツサツサツサツ」みんな掃除が大好き! 稚児たちは仲良く見えますが...



風揚げの歌
 曾我の家では一万(十郎)と箱王(五郎)が暮らしています。父を亡くした悲しみも忘れかけたお正月、空には大きな風が吹いています。一万、箱王が大きく成長するように風はどんどんあがって空に舞い風になります。



白拍子の舞い〜夏げの歌〜
 とらを中心に、遊女と男性が舞う、幻想的なシーンから始まるこの舞いは、遊女たちの群舞に男性が入ってくる。花と蜂蜜をイメージしています。中でもとらの独り舞いは見どころの一つといえます。



小袖の歌
 女性による、母が子を思う歌です。夫が討たれ、子とも別れる場面です。母は二人の兄弟に形見の秋の花の小袖を手渡します。ミュージカルのテーマともいえる小袖、母の愛を小袖に託して歌います。

嬉しいこと
 悲しいこと
 いつも見て来た小袖
 この小袖は
 風になびく
 秋の野の小袖



鳥は翔る
 メインテーマを全員で合唱します。この歌にミュージカルのすべてが託されています。幼くして父を失い、母と別れ兄弟それぞれの道を歩み激流の時代に身を投じた二人の若者。短くも、力の限り生きた兄弟は母に、恋人に、そして仲間へ愛され、空にはばたきました。傍らに秋の野の小袖を残して...

ステージでこの歌が聴こえるとき、きつと何かが待っています。



力強い味方 頼りになる裏方さん
 ミュージカルの出演者は総勢一〇〇余名、この衣装を作ってくれたのが一八名の衣装スタッフさん。今年六月から作業を始め、とても素晴らしい舞台衣装が完成しました。公演は空組・海組合わせて四公演で衣装は二〇〇着以上になります。

十月十一日には実際に出演者が衣装を着て、衣装パレードを行い、いよいよ本番に向けての調整と最終チェックに入りました。仕事や家事の合間をぬって、お手伝いしていただいたボランティアの皆さん、本当にご苦労様、感謝です。

11 NOV

日	曜日	ホール	イベント
1	日	中	市民創作ミュージカル 新・曾我物語「名残りの小袖」
		小	富士市長表彰式
3	火	中	市民創作ミュージカル 新・曾我物語「名残りの小袖」
		小	平成10年度富士市教育文化奨励賞表彰式
5	木	大	富士市立田子浦中学校文化発表会
		小	(社)静岡県プロバングス協会講習会
6	金	大	富士市立吉原北中学校合唱コンクール
		中	富士市立吉原東中学校合唱コンクール
		小	親業公開講座
7	土	中	第49回伝法保育園生活発表会
		小	第4回マーガレット・デュオ・コンサート
8	日	大	富士市立吉原第二中学校創立50周年記念式典
		中	クラシックバレエ・ジャズダンス発表会
		小	ピアノ発表会(阿部陽美・柚木満代)
9	月	大	静岡県富士見高等学校視覚聴覚鑑賞
10	火	大	富士市立富士南中学校合唱コンクール
		小	富士市地域社会貢献者褒章表彰式
11	水	中	第26回富士市社会福祉大会
		小	平成10年度まちづくり推進のつどい
12	木	大	国立バリ管弦楽団
		小	★吉川二郎フラスコギターコンサートⅣ
13	金	大	第51回静岡県校長会教育研究富士大会
		中	松竹大歌舞伎
		小	★南水ひとり語り
14	土	中	富士市自主防災組織リーダー研修会
		小	第15回チャリティーマンドリンコンサート
15	日	大	平成10年度静岡県高等学校総合文化祭開会式
		小	ひろ歌謡教室発表会
18	水	中	★アレクサンダー・セメツキーピアノリサイタル
19	木	大	平成10年度第18回富士市民大学
		小	スポーツ医学シンポジウム
20	金	大	富士東高等学校音楽鑑賞教室
		小	三校合同音楽会
21	土	大	★富士交響吹奏楽団第52回定期演奏会
		小	★メトロノーム第1回コンサート
22	日	大	須津幼稚園生活発表会
		中	第15回ふるさと芸能祭
		小	ピアノ発表会(佐藤早苗)
23	月	大	曙幼稚園生活発表会
		小	★佐藤香代子・渡辺記子二台のピアノによるコンサート
25	水	大	KSDしずおか寄席
		中	平成10年度第18回富士市民大学
26	木	大	旭化成・中研群総合研究発表会
		小	旭化成・中研群総合研究発表会
27	金	小	旭化成・中研群総合研究発表会
28	土	小	ピアノ発表会(岸澤和恵・柴田栄子)
		大	'98伊藤美智子バレエスタジオ発表会
29	日	中	★貴芳会20周年記念発表会
		小	すてきな音楽会

※一般貸出事業については、平成10年9月下旬までの受付分です。各ホールでのイベントや展示などの日程は変更になる場合があります。ロゼシアター主催事業★ロゼチケットセンターでもチケット扱う予定

チケットのお申し込み・お問い合わせは
ロゼ・チケットセンター
 ☎0545-60-2500 受付時間 9:00~19:00

★ロゼシアターホームページアドレス <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~rose/> e-mail rose@city.fuji.shizuoka.jp
 みなさんとロゼを結ぶホットライン! イベント情報・館内施設・トピキなど盛りだくさんの内容です。

12 DEC

日	曜日	ホール	イベント
1	火	小	★萩原明美ソプラノリサイタルⅢ
		大	★チ・ボラゴ 馬頭琴コンサート
2	水	中	滝沢好枝歌謡指導10周年記念公演
		小	富士市民生委員・児童委員委嘱伝達式
3	木	大	平成10年度第18回富士市民大学
4	金	中	旭化成工業富士支社全社環境安全大会
		大	するが幼稚園第28回発表会
5	土	小	富士中央幼稚園生活発表会
		小	ピアノ・エレクトーン発表会(吉田・大野)
		大	わかば幼稚園生活発表会
6	日	中	第22回みのおんがく会
		小	ピアノ発表会(鈴木優子・山田恵子)
12	土	中	高木産業第30回QC決勝大会
		小	ピアノ発表会(渡邊・時田・井上・斉藤)
13	日	大	服部バレエスクール発表会
		中	第19回PL静岡1MBA/パソ発表会
		小	ピアノ発表会(飯塚杏子)
14	月	中	★THE MODSコンサート
		小	ミネハバ・コンサート
15	火	小	「きたがわてつ 平和へのコンサート」
16	水	大	富士見高校吹奏楽部フレンドリーコンサート
17	木	大	島倉千代子歌謡ショー
18	金	小	富士市民クリスマス「讃美の夕べ」
		大	デビッド・マシューズ&ザ・スーパーラテン・ジャズオーケストラ
19	土	小	夢みる音楽会(佐野米里)
20	日	大	富士リズム幼稚園リズム音楽会
		小	リトルコンサート(落合和恵)
22	火	小	ピアノ発表会(松本尚子)
		大	富士見台リズム保育園リズム音楽会
23	水	中	X'マスコンサート
		小	ピアノ発表会(佐藤真理子)
24	木	小	中学校アンサンブルコンテスト東大会
26	土	小	ピアノ発表会(鈴木・渡井・三井)
27	日	小	第12回ピアノ・エレクトーン発表会(宇佐美利恵)

ここが見どころ
イベントガイド
 デビッド・マシューズ&ザ・スーパーラテン・ジャズオーケストラ
 12月19日(土) 大ホール
 ●開場 18:30 開演 19:00
 ●入場料 / S席5,000円・A席4,000円(全席指定)

楽器(表紙)インタビュー
渡辺邦子さん
 マンドリン
 学生時代に始めたマンドリン。当時購入した楽器は今も貴重なハカランダ材製のマンドリン。マンドリンを弾くのは、金銭的に大変ですが、マンドリンは他の楽器に比べ気軽に楽しめます。合奏が、一番の魅力です。今は11月ロゼシアターでのコンサートに向けて練習中です。今後大編成のマンドリンオーケストラを実現してみたいと意欲を語っていました。

展示室のご案内

展示期間	催事
11/1	友好都市提携10周年記念嘉興市地方物産展
11/3~8	小山オサム35周年記念展
11/10~15	新興美術院富士支部大作展
11/20~22	東 創一郎展
11/21~23	第5回エンジョーDIY大賞入選発表展示会
11/28~29	富士市幼稚園展・小学校図工展
12/3~5	1998年 TIFFANY LAMP展
12/11~20	平成10年度静岡県芸術祭美術部門優秀作品展
1/9~10	第51回静岡県書道連盟富士地区書き初め展
1/15~16	アントロポソフィー-水彩画展
1/15~17	吉原高等学校美術・書道展
1/23~24	席書・技術・家庭作品展
1/30~31	中学校美術展・給食展

とても気さくな福田さん
 ギタリスト福田進さんのインタビュー
 ーで静岡の自宅を訪れる。突然玄関に福田さん本人、「さあどうぞ」とうなづかぬ格好で案内された部屋には名器の数々。さらに家の方に気をつかっていたたが、恐縮する取材となりました。本当に気さくで好感のもてる福田さん、ますますファンになってしまいました。(編入)



力強い味方 頼りになる裏方さん
 ミュージカルの出演者は総勢一〇〇余名、この衣装を作ってくれたのが一八名の衣装スタッフさん。今年六月から作業を始め、とても素晴らしい舞台衣装が完成しました。公演は空組・海組合わせて四公演で衣装は二〇〇着以上になります。